

## ネットいじめ

大項目	電子メール
小項目	ネットいじめ
タイトル	ネットいじめ～ネットいじめとは。被害にあった時の対策～
ねらい	メールや掲示板等を利用していじめをする「ネットいじめ」は人権侵害であり絶対に行ってはいけないことを認識するとともに、もしも被害に遭った時の対処法を身に付ける。
作成の意図	<p>インターネットや携帯電話が普及し、誰でも気軽にネットワークでのコミュニケーションを取ることができるようになった。その反面、掲示板への不適切な書込みやメールを使った嫌がらせ等の、いわゆる「ネットいじめ」の被害が後を絶たない。</p> <p>そこで、掲示板に悪口を書き込むことやメールで中傷する行為は、卑怯なことで絶対に行ってはいけないことであり、場合によっては人権侵害で罪に問われることを認識させる。また、ネット上に発信した情報は他人に二次利用される可能性があり、完全に削除することは不可能であることを認識させる。さらに、被害に遭った時の対処法を身に付けさせる。</p>
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットいじめの実態</li> <li>・他人の悪口や個人情報をネット上に流す行為の影響について</li> <li>・ネットいじめは人権侵害であること</li> <li>・被害に遭った時の対処法</li> </ul>
展開例	<p>(1)情報モラル啓発資料を配付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、携帯電話を所有していない者も、一緒に考えさせるようにする。</li> </ul> <p>(2)ネットいじめの実態を理解させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①イラストや最近起きた事例からネットいじめがどのようなものか理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログや掲示板の危険性だけを論ずるのではなく有用性についても説明する。</li> </ul> </li> <li>②インターネット利用実態調査からネットいじめの状況を知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中3女子では6割がネットいじめを見聞きし、手法として「死ね」等のメッセージを送るほか、他人の個人情報を勝手に書き込む悪質な事例が増えている点に注意させる。</li> </ul> </li> </ol> <p>(3)他人の悪口や個人情報をネット上に流す行為の影響について考えさせる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①何人かに意見を発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来のいじめとネットいじめの違いについて考えさせる。</li> <li>・＜従来のいじめとネットいじめの違い＞の表で確認させる。</li> <li>・どのような手段であれ、いじめは絶対に行ってはいけない卑劣な行為であることに気付かせる。</li> </ul> </li> <li>②一度インターネット上に流れた情報は、誰かにコピーされると回収することができなくなり、被害者を長期にわたって苦しめることを理解させる。</li> </ol> <p>(4)ネットいじめは人権侵害で絶対に行ってはいけないことを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がされて嫌なことは、ほかの人にもしてはいけないことを理解させる。</li> <li>・場合によっては名誉毀損や侮辱罪で訴えられることを理解させる。</li> </ul> <p>(5)被害に遭った時の対処法を理解させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①被害に遭った時は、保護者や学校、警察に相談し、一人で抱え込まないように指導する。</li> <li>②対処法を理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールやインターネット上のデータのコピーを保存するよう指導する。</li> <li>・ひぼう・中傷を受けたり、個人情報を掲載された場合は、プロバイダ事業者や掲示板管理者に対し削除依頼するよう指導する。</li> <li>・場合によっては、人権擁護局の「子ども人権110番」(0120-007-110)や警察の生活安全課に相談するよう指導する。</li> <li>・書込みを行った人は、警察の捜査が行われ特定されることを理解させる。</li> </ul> </li> </ol>